

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	イチ・ビーク・アンド・シー(株)	代表者	原 広子	法人・事業所の特徴	緑や川に面した立地で、自然に囲まれた豊かな時間を過ごすことができる。住み慣れた大磯町で生活環境を大きく変えることなく、ご自分らしい生活を続けることができる。
事業所名	りんどうケアヴィレッジ	管理者	北村 里香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	0	2	0	0	1	0	2	0	6

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き利用者の周辺情報を入手する事で、馴染みの暮らしに近付ける。</li> <li>防災対策等に加え、感染症予防に力を入れ、安心した事業所利用に繋げる。</li> <li>チェック表は標準様式を用いているが、項目に沿った様式（又は項目）があれば参考に変更する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングで情報共有をして必要な支援について意見を出し合うことができた。またコロナ禍で地域との関わりが難しくなったが、積極的に関わろうとする意識付けができた。</li> <li>年間を通して感染症対策に取り組み、感染症の発症と集団感染を防ぐことができた。</li> <li>「以前の暮らし方把握表」を活用することができなかつた。より利用者の生活について聞き取り易くするツールとして「私のアルバム」の活用を検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの項目も丁寧に話し合われていて良かった。良い点、これから改善が必要な点に分かりやすかつた。</li> <li>9つのテーマの中でスタッフの方々が利用者、その家族を大切に思い真摯な姿勢で取り組まれていることが理解できました。</li> <li>特に気になったのは「～したい」の実現、日常生活の支援で利用者の自己実現を目指していること、「私のアルバム」を活用してこれからどう暮らしていきたいか本人の立場で考えている姿勢がすばらしいと感じました。</li> <li>具体的な計画になっているので、達成可能で分かりやすいものになっていると思います。自己評価のチェックもとても正直だなと感じました。できていることできていないことを正直に振り返る良い機会かと思います。データが積み重なっていくと様々なことが分析されるかと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して事業所自己評価に取り組み、改善計画を実施していけるように意識付けをする。</li> <li>新たに「私のアルバム」を活用して、利用者の支援に役立てる。</li> </ul>

<p>B. 事業所のしつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感のある施設運営を継続的に行う。(業者による定期清掃など)</li> <li>・半年に一度、運営推進会議開催時に、施設見学を提案する。</li> <li>・地域の方や利用者が入りしやすいよう出入口の施錠せず、開閉チャイムの使用を継続し、安全な運用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指消毒の設備や衝立の設置、換気等、環境整備を続け、感染症の予防と蔓延防止に取り組んだ。</li> <li>・コロナ禍で施設見学や地域交流スペースの活用も最小限とせざるを得ない状況だったが、閉鎖的な事業所にならないように、地域に開かれた運営を目指した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感もあり、入りやすい環境です。</li> <li>・運営推進会議の折、近所を通りがかった時、利用者の方々の楽しそうな声を聞くことができた。</li> <li>・立ち寄りやすい雰囲気がとても良いと思うが、まだ利用者以外の認知度が低いのかなと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植え込みの整備や催し物の開催、施設見学をしていただく機会を増やす等、家族や地域の方が事業所に入りやすいような工夫を続けていく。</li> <li>・引き続き、衛生管理や環境整備、感染症の予防と蔓延防止に取り組む。</li> </ul>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流と発信として、「プチおおいそ」「タウン祭り」の開催。</li> <li>・民生委員だけでなく、協力の頂ける近隣者の発掘。声掛けや挨拶を行い、事業所の認識を持ってもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で「プチおおいそ」「タウン祭り」の開催ができなかった。</li> <li>・コロナ禍で地域との関りが難しかったが、声掛けや挨拶は積極的に行った。また事業所から発信できること等の構想を練った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の役員として、地域で困っている方と事業所をつなげるお手伝いができたら良かったと思います。運営推進会議は相談しやすい場となっていたので助かりました。</li> <li>・いつもとても親切で対応も早いイメージがある。</li> <li>・新型コロナウイルスの影響で地域の行事、イベントが今年はなかったが、積極的に交流しようとしていることが分かる。</li> <li>・コロナ禍で「ぷちおおいそ」「タウン祭り」の開催ができなかったが、是非来年度は見てみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方にどのような所か、どんな事業所か知っていただく為に、イベントや来所していただける機会をできるだけ多く設ける。</li> <li>・同時に地域交流スペースの活用の機会を増やし、「認知症カフェ」や「オープンガーデン」等、地域の資源となるような取り組みも行い、地域に開かれた運営を目指す。</li> </ul>

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える 取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の外出で地域に出向き、他者との関わりを設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住み慣れた地域での生活が途切れてしまわないように、様々な角度からの支援を模索した。コロナ禍であったが、できるだけ地域に出ていく取り組みを続けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際に利用されている家族の方が運営推進会議に参加され、具体的な話が聞けて事業所の対応に感心しています。</li> <li>・ 利用者以外のご近所の心配な方の相談をつなげていくのは大切な仕事であると感じました。</li> <li>・ コロナ禍で大変な時であるが、利用者の最善を考え取り組んでいる。今年は地域に出向くことがなかなか難しかったが、その分施設内での行事やイベントを楽しんでいる。</li> <li>・ いつまでこのコロナの状態が続くか分からない為、来年度はこの状況の中どうしていくか、どう交流していくか話し合うべきだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族会等で利用者や家族から話を聞く機会を持ち、普段の自宅での様子の他に、これまでどのように地域と関わってきたのかを知る。聞いたことから、これからの地域との関わり方を検討する。</li> <li>・ 地域資源の情報収集をして、地域行事に利用者に参加する。</li> <li>・ コロナ禍であるが、感染対策をしっかりと行った上で、積極的な活動をしていく。</li> </ul>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣住民や施設の方に、引き続き声かけし、運営推進会議に参加していただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍で、運営推進会議にご近所や他施設の方をお誘いすることもかなわなかった。</li> <li>・ 一方、家族、民生委員、区長、包括支援センター、町職員等の出席を賜ることができ、情報交換の場として活用していただけた。</li> <li>・ 地域の心配な方の話題もあり、どう取り組んでいくかを相談した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営推進会議を通して身近な所に事業所があること、そのケアのあり方を知ることができてとても役立ちました。</li> <li>・ 行政、施設スタッフ、地域で活躍される方々との交流の機会となっており、意味ある運営推進会議になっていると思います。</li> <li>・ 毎回、利用者家族、民生委員の方等、多くの方が参加され多方面の意見が聞けている。地域の意見を直接聞ける場があまりないので、とても良い情報交換の場になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営の報告以外にも、防災計画や地域の心配な方等の検討を行っていく。</li> <li>・ 情報交換の場としても継続と発展ができるよう模索していく。</li> <li>・ 限られた時間内であり、毎回話し合いのテーマを決める等して焦点を絞り、実りの多い会議になるように工夫する。</li> </ul>

<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自衛消防、避難訓練の実施。</li> <li>・ 地域で開催される防災訓練に参加。</li> <li>・ 防災備蓄品のチェックと交換。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防訓練、消火訓練を定期的実施できた。</li> <li>・ 地区の防災訓練に参加した。</li> <li>・ 防災備蓄品の確認と補充。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いざという時に利用者や近所のひとり暮らしの方も受け入れられるということで地域に開かれている施設であると感じました。</li> <li>・ 防災計画を立て、緊急時どのような行動をとればいいのか確認ができている。</li> <li>・ 目の前にある川が増水した時のことも考え、訓練をしたり想定されることに対策をとっていたことが良かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策計画は、地震、津波、台風、洪水、火災等、具体的な項目毎に、より分かりやすいものにしていく。訓練の実施に当たっては、地域の方の参加が得られるよう連携に努める。</li> <li>・ 地域で開催される防災訓練に参加し、地域での事業所の役割を検討していく。</li> <li>・ 地域と共同した防災対策の強化に努める。</li> </ul>
-----------------------	---	--	--	--